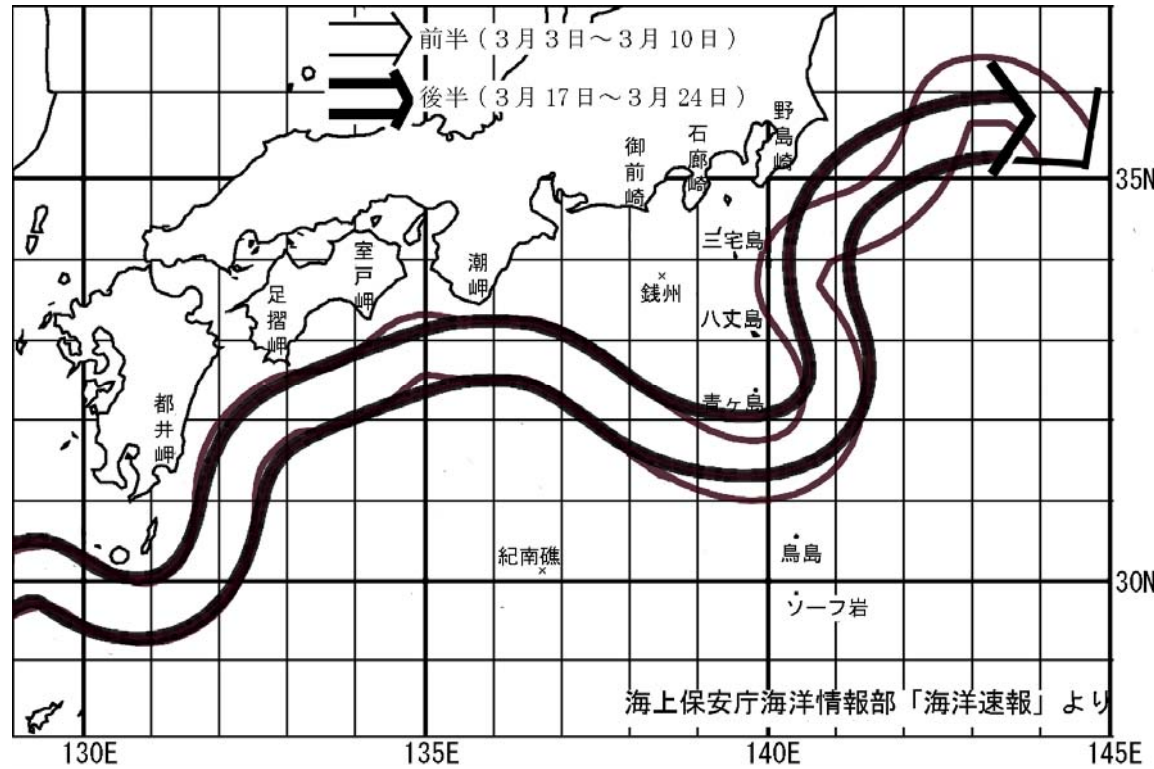


# 漁海況月報

平成21年 3月 1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	12.9	14.6	13.9	13.9	13.5	13.5	11.9
	-0.7	0.6	0.2	-0.5	-0.7	0.0	0.1
中旬	13.6	14.3	13.8	13.9	14.0	14.1	12.1
	-0.2	0.1	-0.2	-0.9	-0.8	0.3	-0.4
下旬	13.1	14.1	13.5	13.7	14.0	14.4	12.7
	-1.0	-0.4	-0.7	-1.6	-1.3	0.1	-0.5
月	13.2	14.4	13.7	13.8	13.8	14.0	12.2
	-0.6	0.1	-0.2	-1.0	-0.9	0.1	-0.3

## 【黒潮流路】

月前半の黒潮は都井岬から潮岬を接岸傾向で流去した。その後、遠州灘沖を南東方向に流れ、青ヶ島の南31.5° N付近まで達した後、140.5° E付近をS字状に小規模に蛇行して北上した。房総半島沖では離岸傾向で流去した。

月後半の黒潮は、潮岬沖を小蛇行が通過し、前半に比べ紀伊水道沖でやや離岸した。潮岬以東では、遠州灘沖を南東方向に流れ、青ヶ島のやや南32° N付近に達した後、141° Eを北上し房総半島沖を接岸傾向で北東方向に流去した。伊豆諸島海域の黒潮の蛇行は規模がやや縮小し、東進した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では12~15°C台、駿河湾東部では12~15°C台、西部では11~15°C台で経過し、上旬は平年並~やや低め、下旬は焼津を除き低め基調であった。

駿河湾では顕著な暖水波及はみられなかった。遠州灘では上旬及び15日以降に熊野灘から15°C台の暖水波及がみられた。25日には弱まったが、26日以降、黒潮の小規模な接岸変動に伴い15~18°C台の暖水波及が強勢となった。一方、相模湾では26日以降、東方から15°C以上の暖水が波及した。

## 【竿釣近海カツオ】

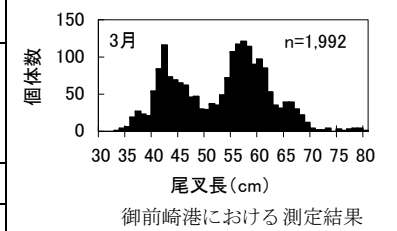
3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚げ量は267トンで前年同期の2.6倍であった。魚価は518円/kgで、前年同期を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、23°~28° N、132°~137° Eで大、中(尾又長57cmモード)、特大(尾又長65~66cmモード)、カツオを漁獲した。また、瀬では、キハダに混じり小、極小(尾又長42cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚げ量 (近海、県内主要5港)

期間	水揚げ量 (トン)	水揚げ隻数	水揚げ/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
21年3月上旬	64	6	10.7	373
	128	10	12.8	516
	75	9	8.3	645
21年3月計	267	25	10.7	518
20年3月計	102	16	6.4	610
19年3月計	214	28	7.6	547

(平成21年から沿岸と近海竿釣り船を合計した値を載せます。)



## 【定置網】

平成21年3月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は300トンで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚げ量50.0トンは前年70.3トン(6漁場)の71%、平年値(昭和57~平成20年)44.3トンの113%であった。

魚種別水揚げ量は、①マアジ113.8トン(A:前年同月比447%、B:平年同月比116%)②カタクチイワシ112.7トン(A:38%、B:160%)③マイワシ14.2トン(A:286%、B:29%)④サバ類10.9トン(A:585%、B:41%)⑤スルメイカ10.7トン(A:前年96%、B:51%)の順であった。

マアジは川奈、北川、富戸を中心に入網し、尾又長のモードは19cmで、2008年級群が中心であつ

た。カタクチイワシは古網、北川、谷津に入網し、被鱗体長のモードは12.0 cmにみられた。マイワシは北川、川奈、古網を中心に入網し、被鱗体長のモードは14.0 cmであった。サバ類は川奈、富戸、古網を中心に入網し、ゴマサバが中心であるが、古網ではマサバが多く、尾又長のモードはゴマサバは32 cm、マサバでは33 cmで、2007年級群が中心と考えられたが、マサバでは22～23 cmにもモードが見られ、2009年級群と考えられた。スルメイカは北川、富戸、古網を中心に入網し、外套背長のモードは21cmと前月より小型化した。

また、ブリについては「ぶり」銘柄が0.4トン、51尾で、前年の1%、平年の2%ときわめて不振であった。

漁場別水揚量は、古網88トン(カタクチイワシ、マアジ中心)、川奈69トン(マアジ、カタクチイワシ中心)、北川64トン(カタクチイワシ、マアジ中心)の順であった。

### 【サバたもすくい棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ127トン(前年同月比249%)、ゴマサバ174トン(前年同月比16%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は、マサバが4.0トン/隻(前年同月比308%)、ゴマサバについては、マサバに漁獲努力が傾注されたこと等から5.4トン/隻(前年同月比19%)であった。マサバの平均単価は405円/kgと堅調であったが、ゴマサバは56円/kgと前月(75円)を下回った。

たもすくいの漁場は、上中旬はマサバ主体でひょうたん瀬に、下旬はゴマサバ主体に大室出しに形成され、中旬までは、本県棒受網船もひょうたん瀬でのたもすくいに転換したが、ひょうたん瀬の水温低下等に伴い漁況は低調となった。棒受網の漁場は、下旬にゴマサバ主体で三本、三宅に形成された。

ひょうたん瀬では、32cmモードのマサバ2歳魚(2007年級群)と思われる群を主体に、31cmモードのゴマサバ2歳魚(2007年級群)と思われる群が混じった。三本、三宅では、28～30cmモードのゴマサバ2歳魚(2007年級群)、24cmモードの同1歳魚(2008年級群)主体に、32cmモードのマサバ2歳魚(2007年級群)が混じった。また、25～30cm前後のオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
21年3月上旬	96	10	5	16	6.0	0.6	360	75	ひょうたん瀬
中旬	26	87	4	8	3.2	10.8	616	54	ひょうたん瀬三本
下旬	5	77	4	8	0.6	9.6	172	55	大室出し、三本三宅
21年3月計	127	174	13	32	4.0	5.4	405	56	—
20年3月	51	1,058	16	38	1.3	27.8	489	92	ひょうたん瀬 大室出し
19年3月	478	119	16	46	10.4	2.6	185	51	稲島大室出し、ひょうたん瀬

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

### 【サクラエビ船曳網】

平成21年春漁は、3月29日に初漁となり、全船による漁場探索が行われた。例年の春漁で漁場となる湾奥ではあまり反応がみられず、用宗～焼津沖及びウタレ沖と、秋漁のような漁場となった。3月は1日の操業で62トンの水揚となった。

水揚されたサクラエビは、体長35mmにモードを持つ当歳エビと40～44mmにモードを持つ1歳エビ

の2群で構成された。

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均(kg)	漁 場
平成21年3月 上旬	—	—	平均 —	—
中旬	—	—	平均 —	—
下旬	62	1	平均 1,036	漁場探索、焼津・大井川沖
平成21年3月 計	62	1	平均 1,036	—
平成20年3月 計	—	—	平均 —	—
平成19年3月 計	—	—	平均 —	—

### 【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が42kg、遠州灘が10kgであった。新居、舞阪、福田では操業は行われなかった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は42kgと前年同期(415kg)の10%、平年同期(過去5か年平均:228kg)の18%と前年及び平年同期を大きく下回った。また、総水揚量も5.8トンで前年同期(379.8トン)の2%、平年同期(147.0トン)の4%と、前年及び平年を大きく下回った。平均単価は1,049円/kgと平年同期(811円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	0.0	0	0	—	—
舞 阪	0.0	0	0	—	—
福 田	0.0	0	0	—	—
御前崎	0.0	1	1	10	1,000
吉 田	1.4	3	58	24	1,528
静 岡	4.4	4	80	55	897
平成21年3月計	5.8		139	42	1,049
平成20年3月計	379.8		915	415	572
平成19年3月計	258.1		768	336	589

### 【まき網】

小川港ではマイワシが14.4トンの水揚げで平年同期(23.2トン)の62%であった。沼津港では、マイワシが8.7トンの水揚げで平年同期(37.6トン)の23%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静浦港では、マイワシが30kgの水揚げで平年同期(0.3トン)の9%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった。

注) 平年同期: 過去5か年(2003～2007年)平均

### [調査船の動向]

#### 富士丸

3月 13日 ～ 3月 13日 ドック回航 (1日間)

3月 27日 ～ 3月 27日 焼津回航 (1日間)

#### 駿河丸

3月 2日 ～ 3月 3日 地先観測、ドック回航 (2日間)

3月 26日 ～ 3月 26日 海上試運転 (1日間)

3月 27日 ～ 3月 27日 回航 (1日間)

#### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と  
関東・東海海況速報を見ることができます。

